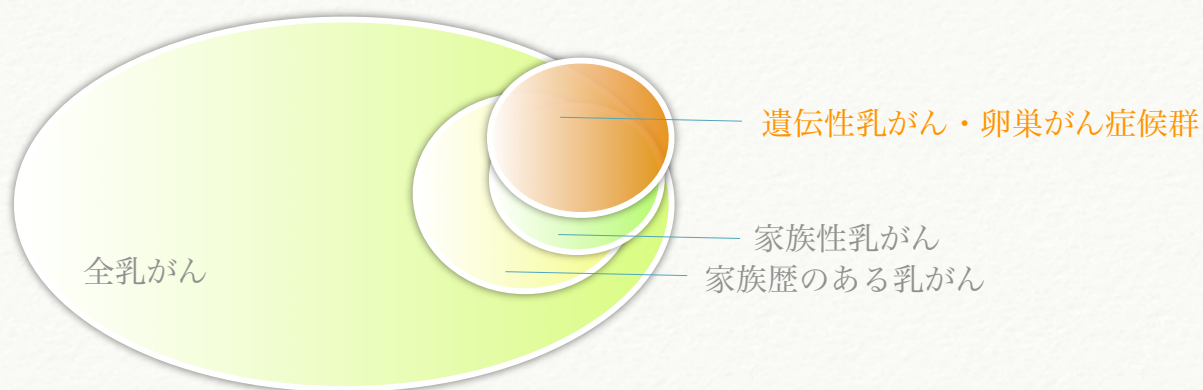


遺伝性乳がん・卵巣がん症候群の遺伝相談について

乳がんは、日本人女性の16人に1人が生涯に罹患する病気で、30才から64才における日本女性のがん死亡率の第1位です。その5-10%は家族性です。

遺伝性乳がん・卵巣がん症候群は、生まれながらにあるBRCA1/2遺伝子の変異により乳がんや卵巣がんになりやすくなる病気です。若年発症、家族歴、重複がん、トリプルネガティブ乳がんなどの場合には、この病気を疑います。



- ・この病気はどんなものなのか
- ・自分はこの病気なのではないか
- ・遺伝とはどういうものか
- ・通常の乳がんや卵巣がんと何が違うのか
- ・何に気をつければよいのか
- ・子どもやきょうだいなどへの影響は？

など、ゆっくりお話ししてみませんか？

当院の遺伝子診療部では、遺伝性乳がん・卵巣がん症候群に関する遺伝カウンセリングを行っています。ご希望がある場合にはBRCA1/2の遺伝子検査を受ける事も可能です。

お問い合わせは、045-787-2692へお電話ください。遺伝子診療部の担当者が対応いたします。遺伝カウンセリングご希望の場合には、外来受診予約などのお手続きを致します。

